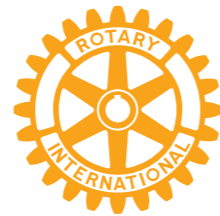


2015-2016 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter 8

Rotary
District 2510



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度ガバナー 嵯峨義輝

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
e-mail: rid2510@nifty.com http://rid2510.org



2015-2016年度 国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift to the world



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度 地区目標

1. 会員増強と維持率向上の推進

会員数5%純増

2. オンラインツールの利活用の推進

「ロータリークラブ・セントラル」「My Rotary」への登録、利活用推進
ウェブサイトやSNSを活用した公共イメージの向上

3. 人道的奉仕活動の継続と推進

ポリオ撲滅、復興支援、国際奉仕活動の継続と推進

4. ロータリー財団への理解と協力支援の継続

ロータリー財団に関する情報発信
直接的・間接的寄付の継続

**第2510地区
重点課題**

1. クラブ戦略計画への支援

2. 新会員のフォロー支援

3. クラブサポートの強化

Contents

●ガバナーメッセージ	1
●会員増強・新クラブ結成推進月間	2
●2015-2016年度 地区委員会活動計画	3
●ななまるクラブ通信／ガバナー公式訪問報告	13
●2015-2016年度 地区大会のご案内	14
●ロータリー、来し方行く末	16
●新会員の紹介／米山奨学生のご紹介	17
●2018-2019年度 ガバナーノミニ候補者推薦のお願い	18
●2016-2017年度 青少年交換派遣学生募集要項	18
●ポリオプラス委員会より／文庫通信	19
●地区カレンダー	20



奉仕の心を広げましょう

国際ロータリー第2510地区

2015-2016年度ガバナー **嵯峨 義輝** (岩見沢RC)

8月になりました。新年度スタートから一ヶ月がたち会長・幹事の皆様もあわただしいスタートダッシュから落ち着いたクラブ運営に移行されてきたことと思います。私も7月1日の東京での第1回ガバナー会を皮切りにガバナーとしての職務がスタートしました。公式訪問も7月7日から始まり7月中には16クラブへの訪問を終了させて頂きました。それぞれのクラブの皆様には、温かい対応を頂き感謝申し上げますとともに、会長・幹事会またクラブ協議会において話された各クラブの課題、地区への要望を重く受け止め皆様のお役にたつ地区運営に努めてまいります。

さて8月は会員増強・新クラブ結成推進月間があります。会員増強はロータリーにとって、また各クラブにとって喫緊かつ永遠の課題です。今年度地区目標においても一番目に「会員増強と維持率向上の推進」を掲げさせて頂きました。会員増強は組織を継続、拡大させていくために必要なものですが、それ以前にロータリーは奉仕の心を持ったロータリアンを一人でも多く作っていくという事が大切です。この月間に先立ち7月12日に第2750地区市川伊三夫パストガバナーを講師に迎え会員増強セミナーを開催しました。会長さん、増強担当委員長さんをはじめ多くの皆様にご参加頂きありがとうございました。皆様もこのセミナーで多くの得るものがあったと思います。維持率という観点からも多くの示唆がありました。自分がなぜロータリーにいるのか？考え方は個々様々でしょう。ロータリーにいる事が自分のためになるという事、自分を高め

るためにロータリーがあるという事、これをどう実感できるかが大切とお話もありました。そのためには自ら求める姿勢とともにクラブがその会員に何をしてあげるか、他の会員が何をしてあげるかが大切です。私自身も入会当初はロータリークラブの魅力になかなか気付かず気持ちの離れたこともありましたが、友人の一言で退会こそ思い留まったのですが、その時気付いたのはロータリーはロングランで楽しみながらやるものだという事です。幸い以降は楽しみながらやりすぎて今日を迎えてしまいました。ロータリーの魅力の一つはロータリアンでなければ得られない沢山の人の出会いにあると思います。地区としてはそんな場を提供するお手伝いをしてまいります。

もう一点RIの動きを報告いたします。サンパウロの国際大会においてK.R.ラビンドラン会長(当時エレクト)が新しい会員特典プログラム「ロータリー グローバル リワード」に関する発表を行い7月1日よりスタートしています。このプログラムは会員の満足度を高め会員増強につなげる事を目的としています。会員の中にはそういう要望もあるようです。地区としても委員会を設置しPR等対応していきますが、今はMy Rotaryから確認して頂きたいと思っています。

いずれにしても会員増強は簡単な事ではありません。ロータリアン一人一人がロータリーを理解し輪を広げていく地道な行動です。その中で一人でも多くの素晴らしい仲間を増やす努力をお願いします。

暑い日が続いています。ご健康に留意され素晴らしい日々を送られることを祈念いたします。



会員増強・新クラブ結成推進月間

地区会員増強委員会

委員長 **羽部大仁** (札幌幌南RC・PG)

今月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。長引く不況、東日本大震災等の影響もあり、会員増強は簡単ではありません。12名のガバナー補佐にお手伝いを願い会長・幹事さんの強力を得て会員の増強に努めてまいりたいと思います。

ロータリーを地域社会の人に知って戴くことも重大な問題です。最近ロータリーでは公共イメージの向上を地区・クラブに要請しています。又クラブにあっても会員増強委員長さんだけが担当者ではなく、会員一人一人がロータリークラブの大切なスポークスマンなのだと思います。従って会員一人一人が「勧誘に努力戴きますよう」お願い致します。会員の増強はクラブの活性化を促します。新しい会員を迎えることにより、経験豊かな世代と元気で行動力のある世代が融合し、新しい仲間、友達が加わり一層楽しいロータリーになるようにご支援をお願い致します。今年度の増強目標は5%純増です。

7月12日の地区会員増強セミナーには、各クラブの会長と増強担当委員長にご出席戴きまして誠に有難うございました。当日講師をお願い致しました、市川伊三夫PDG (東京銀座RC) に有意義なお話しを承りました。各クラブの地域性・特徴を生かして会員増強に取り組みますよう宜しくお願い致します。

私自身が市川パストガバナーのお話しを聴いて2~3印象的なことをご紹介します。

- 1) ロータリーの未来は?と日本の未来の設問について「日本のロータリーの未来は」会員増強・維持をしっかりとしないと。新しい人の参入について、新入生の参入のない学校は存続しない。新入社員の参入のない会社は存続しない。新入会員のいないロータリーは衰退して存続しない。
- 2) やめていく動機について、新入生がやめる動機は卒業証書が貰えない時。新入社員がやめる動機は給料が貰えないとき。新入会員がやめていく動機

は、何の損失もないと考えている。ロータリーの方が辞めていく人を踏み止まらせる力は、絶対に弱い。
3) ロータリアンは会員増強に余りにも努力不足かについて、答えは努力している。何故会員は減るのか?について、何十年も同じ場所で釣り糸を垂れている。ザルで水をすくっている。

どうしたらこれらの問題を解決できるかについて市川パストガバナーは以下のヒントを与えて下さいました。

「日本の例会の95%は昼の例会、外国は殆ど50%以下で他の時間帯を例会時間に充てている。又土日やモーニング・イブニング・夜・アフタヌーンの例会など創意工夫して例会を開催している。費用について日本は米国の約5倍で、昼食によって費用が増額している。女性会員についてこれだけ社会進出が著しいのに、会員数は少ない。どこかに問題はないか?」若者の入会については、昨年度ゲイリー C.K.ホアン国際ロータリー会長は若い人、特にロータリーファミリーの入会を強く要請されておりました。ローターアクトの卒業生、ロテックス、財団学友、米山学友など多くの候補者がいます。次に衛星クラブとEクラブについても効果的だと話され、こういう所に魚は居ると結ばれました。昨年度札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブが許可されました。会員は16名に増強されました。

市川パストガバナーのお話しの中で特に印象的だったのは、「早く役につけるしかも大役」と「ロータリアンよ目覚めよ!ロータリーに恩返ししよう!」この二つの言葉です。幾つかのヒントに過ぎないと思いますが、どうかクラブ会長・幹事・増強担当委員長で増強について話し合いをして下さい。

もしも、問題がありましたら担当のガバナー補佐に気軽にご相談戴きたいと思います。5%の増強に向けて格段のご協力をお願い申し上げます。

2015~2016年度 地区委員会活動計画書

地区会員増強委員会



委員長
羽部 大仁
(札幌南RC・PG)

1. 活動方針

会員増強はロータリーの優先項目の一つです。国際ロータリー理事会はポリオ撲滅に次ぐ第二の優先項目であることに同意しました。2015年国際協議会より「会員増強」を協議会のプログラム案のリストに加えました。会員増強の試験的なプログラム(準会員、法人会員、革新性、柔軟性のあるクラブ、衛星クラブ)は、2017年6月30日を終了日とする第2期の試験期間を行うため、期間が延長されました。

先の地区研修・協議会に於いて、嵯峨義輝ガバナーエレクトは理事会の確認を重要視され会員増強をプログラムに盛り込まれ、数値も年度5%の増員を目標とされました。

さて、簡単に5%の増強が実現するとは考え難い目標です。私も前年度101名の増強を目標に会員増強に取り組んで参りました。しかし6月30日にどれほど会員が減少したか不安であります。

先に示した101名の増強のベースは、夫々のクラブに1名の増強を願い(当初71クラブ)プラス30名のクラブを拡大することを基盤に101名を試算しました。積極的に増強に取り組まれたクラブに大いに励まされましたが、人口減少などに苦しむ地域の会員減少に一喜一憂しました。

又クラブ拡大に付きましては、良い情報も得られないまま推移しました。私が所属する札幌南ロータリークラブに衛星クラブ設立準備会が設立され、大きな論議を超えて3月26日国際ロータリーから「札幌南ライラックロータリー衛星クラブ」が許可されました。創立会員は11名でした。既に2名の氏名公表を終えていますので13名になります。この衛星クラブはクラブ内クラブですので、全て札幌南ロータリークラブのメンバーと同じ特典が得られます。

今年度においても地区内クラブ会長・幹事さんに積極的に会員維持に当たり又会員増強に向けて一層の取り組みを宜しくお願い申し上げます。

2. 活動計画

- ・2015年7月12日(日) 地区会員増強セミナーの開催(岩見沢市)
市川伊三夫パストガバナー(第2750地区・東京銀座RC)を講師にお迎えて開催。
- ・8月の会員増強・新クラブ結成推進月間に要請のあったクラブに出向き卓話を行う。
- ・ガバナー月信等で情報を発信する。

地区RI国際大会推進委員会



委員長
安孫子 建雄
(江別RC・PG)

1. 活動方針

2015-2016年度RI国際大会は、2016年5月28日～6月1日、韓国・ソウルで開催されます。世界中から会員が集まるロータリー国際大会は、旧友との再会、新たな友人との出会い、異文化交流、より良い世界を築くためのアイデアの交換など、ロータリーに入会したばかりの方も、ベテラン会員も、国際大会に出席すればきっとロータリーを再発見できるはず。世界中の人たちとネットワークを広げ、新しい考え方やアイデアを発見し、より良い地域社会づくりへの意欲を新たに充電できるかと思えます。

韓国ソウルでの国際大会は、ロータリーの国際大会を体験できる数少ない機会かと思えます。新千歳空港から直行便も出ておりますので是非ご参加下さい。

登録料は12月15日まで310ドル、3月31日までが375ドルです。

国際ロータリーのホームページからも登録できますので是非、宜しくお願い申し上げます。

2. 活動計画

嵯峨義輝ガバナーのもと韓国・ソウルで開催されるRI国際大会の情報をガバナー月信等で提供します。

既に各クラブにアンケート調査を致しましたが、旅行計画については複数社の中から検討をしたいと思えます。

また、姉妹地区韓国第3700地区から情報も得ながら、「北海道ナイト」を楽しみたいものにしてほしいと考えております。

地区拡大委員会



委員長
熊澤隆樹
(小樽RC・PG)

1. 活動方針

昨年度は羽部ガバナーの強力な指導力により、札幌幌南RCに衛星クラブが誕生しました。その後の経緯を見守り、支援することが役目の一つであると考えています。また、近年、経済の発展に伴い、会員増強も期待されますが、そんな中で地域内に少ないモーニングクラブを作る可能性について検討してみたい。

2. 活動計画

- (1) 衛星クラブへの支援
- (2) Eクラブについても調査と情報収集
- (3) モーニングクラブの設立の可能性について検討
- (4) ガバナー補佐の協力を得て、会員減少をしているクラブへの支援、援助

地区文献資料室



委員長
中村明広
(札幌手稲RC)

1. 活動方針

次世代の文献資料室作りを目指します。地区史編纂を一つの区切りとし、次の世代への文献資料収集や、提供方法について検討します。
(1) 資料の収集や貸出、図書・DVD等の購入は例年通り行います。
(2) 新たな文献・資料の収集や提供についての検討を行います。

2. 活動計画

- (1) 新たな文献・資料の収集方法の検討
 - ① インターネットでの文献情報の収集の検討
Rotary.orgや全国各地のロータリークラブのホームページ上で様々な資料が公開されていますが、こういった情報の収集方法について検討します。
 - ② 各クラブの文献情報の収集の検討
各クラブでの会員卓話など、身近な活動の文献資料化(ビデオ、文書)を検討します。
- (2) 提供方法の検討
前記収集文献、及び、既存文献資料について、クラブやクラブ会員の方が活発に活用していただけるよう、提供方法を検討します。
 - ① 地区ホームページはもとより、Facebookなどの外部SNSを活用した文献資料の情報提供。
 - ② 地区内クラブだけではなく全国のクラブへの文献提供・発信力をつけるための方法。

地区クラブ管理運営委員会



委員長
宮部光幸
(札幌モーニングRC)

1. 活動方針

CLP推進以降の『効果的なクラブの実現にむけて』以下の項目について検討可能な活動を実施する
(1) 『長期計画立案』クラブ長期計画(戦略計画)の立案の推進

方法として 「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」をクラブメンバー全員参加で作成の推進

- (2) 『開かれたRI情報』・・・クラブは地区のロータリー情報を、充分に知る機会を持つ
『クラブ情報と地区情報をネットの構築』・・・あなたのクラブはみんなのクラブ
『クラブで実現できない活動は地区・グループで実現』

・・・地・地区グループが次の活動ステージ

方法として 「Rotary.Org」のプラットフォームへの書き込み促進

方法として 「グループがICB(インターシティービール親睦活動)を開催する

2. 活動計画

- (1) クラブより提出される「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」の地区活動指針への連携の補助を行う
- (2) Rotary.Orgのプラットフォームでの地区情報のリンクを拡大する
- (3) グループがICB(インターシティービール親睦活動)の開催

地区広報委員会



委員長
杉江 俊太郎
(小樽RC)

1. 活動方針

広報委員会は、昨年度11年ぶりに広報・IC委員会から独立して単独委員会となり、まずは「ロータリーの広報」の経緯と今後の在り方を検討致しました。

ロータリーは世界からそれぞれの地域まで多くの素晴らしい奉仕活動を実施しておりますが、しかし残念なことに、一般市民の方々の活動に対する認知度や理解度がまだまだ低いのが現状であり、この現状を改善するために「正しいロータリーの広報」を実行しなければならないと考えました。

そこで広報委員会としては、「ロータリーとロータリーの活動」の認知度や理解度を少しでも深めて頂く一つの新しい手段として昨年度「ポリオ撲滅ロータリーデー」に合わせた新聞掲載を実施致しました。

今年度も引き続き「ロータリーの正しい広報」を実践・提唱していきたいと考えておりますので、各クラブ会長をはじめ地区内全てのロータリアンにご協力をお願い申し上げます。

2. 活動計画

- (1) ロータリー広報のあり方の調査・検討
- (2) 各クラブ広報活動との連携、取りまとめ、サポート体制の構築
- (3) 地区としてマスコミとの連携強化
- (4) ロータリー動画を電子媒体の利用促進の検討

地区IC委員会



委員長
里見 英樹
(札幌南RC)

1. 活動方針

- (1) My Rotary、ロータリークラブ・セントラルの利用促進を図る。
- (2) 対外的な情報配信、他クラブへの情報配信、クラブ内への情報配信を的確に行う為に、地区ウェブサイトの掲載内容の充実を図る。
- (3) インターネットを利用して情報交換を行うとともに各クラブに対して必要な情報を効率的に伝達する。

2. 活動計画

- (1) My Rotary、ロータリークラブ・セントラルの利用促進
 - ・ My Rotary、ロータリークラブ・セントラルの利用促進のための講習会を開催する。
- (2) メールマガジンの配信
 - ・ インターネットを通じて流通する情報や地区内の情報、さらには他地区の有用な情報を速やかにガバナーはじめ地区内の会員に電子メールで配信する。
- (3) 地区ウェブサイト
 - ・ 地区WEBサイトの充実を図るため、ガバナー事務所のみならず、クラブ単位、各委員での情報提供を促す。
- (4) 地区活動を地域社会にウェブサイトを通じて広報し、クラブへの関心を促進することで、クラブ会員増強の一翼を担えるように努める。

地区職業奉仕委員会



委員長
福田 武男
(千歳RC)

1. 活動方針

- (1) 地区内70クラブの職業奉仕委員会の活動を全面的に支援すること。
- (2) ロータリーの職業奉仕理念がより多くのクラブと会員に理解されるよう努めること。
- (3) 今までの地区の職業奉仕委員会活動にできるだけITツールを活用すること。

2. 活動計画

- (1) 地区内70クラブの職業奉仕委員会が活発に活動できるように支援すること。
 - ① 2014～2015年度、70クラブの職業奉仕委員会の活動実施状況を調査し、各クラブの職業奉仕委員長にまとめた資料を配布すること。
 - ② 地区内70クラブの職業奉仕委員会を通じて、ロータリー会員の社是・社訓をまとめ、地区内クラブに発表し、地区内会員の役に立つようにすること。
- (2) 地区内70クラブに、ロータリーの職業奉仕理念の理解を推進すること。
 - ① 各クラブからの「卓話」の要請に応えること。

(3) ITツールの活用

- ①『チャットワーク』を利用することにより地区委員会内で意見や資料の交換を常時自由に行えるので、各地区委員の情報交換やレベルアップに役立てたい。
- ②今までは札幌近郊でロータリー歴がある程度あり、職業奉仕理念に精通或は関心がある会員が委員になっていたが、2015～16年度からはこれまでとは逆に、札幌から遠隔の地域の方々にも且つロータリー歴の浅い会員にも委員になって頂き、ロータリーの職業奉仕を学ぼうという雰囲気を地区内全域で作っていききたい。
- ③グーグルの無料の「ハングアウト」を活用して、委員会を「テレビ会議」で行うこと。このツールの活用によって、今までは2ヶ月に一度の開催であったものが、特別な費用もかからず、毎月でも開催が可能になる。

地区奉仕プロジェクト委員会



委員長
出村 知佳子
(札幌北RC)

1. 活動方針

- ・各奉仕部門委員会と共同にて、タイムリーな「奉仕プロジェクト」を実践し、各クラブと共に活動する。

2. 活動計画

- ・地区の支援プロジェクト等に、起案、参加、実践する。
- ・各クラブの活動をサポートとタイムリーな事業の実施に結びつける為、「奉仕プロジェクト」委員での意見交換の機会を設け、必要とされるプロジェクトについて考えていく。

地区社会奉仕委員会



委員長
遠藤 浩一
(岩見沢RC)

1. 活動方針

ロータリーの原点はクラブの主体性にあることを確認し、地区委員会は、常にクラブと共にあることを自覚し、活動への支援を努めていくことを方針とする。

各クラブの活動がより一層活性化するため、定期的に活動内容を把握し、その内容について提供する等の情報交換の機会を行い、社会奉仕活動の充実に寄与します。

2. 活動計画

- (1) 社会奉仕活動レポート「明日」の活用とともに、現在の活動内容や今後の計画、課題を把握し、クラブに対しどのような情報交換等の機会が必要か検討する。
- (2) 公共イメージの向上となる活動について、IC委員会と連携しウェブサイト等を利用した広報を行います。
- (3) 地区の奉仕プロジェクト委員会との連携した、復興支援活動等の人道的奉仕活動の継続と推進を行います。
- (4) 財団との連携により、補助金制度を活用した活動を推進します。
- (5) 各クラブの奉仕活動に参加してまいります。

地区職業研修チーム(VTT)委員会



委員長
富岡 豊
(静内RC)

1. 活動方針

- (1) 地区内のロータリアンに対して職業研修チーム(VTT)の事業についての知名度を高め、どのようなプロジェクトを実施しているのかという事をご理解いただけるように務めます。(要請がありましたら卓話に伺います)
- (2) 国際奉仕委員会との合同事業における、派遣団員の研修の充実に図り、事業の効果を高めることのできる環境づくりを行う。

2. 活動計画

- (1) 定期的(隔月)に委員会を開催して、VTTプログラムや補助金に関しての勉強会等を行う。
- (2) 国際奉仕委員会との合同委員会で実施している(2015年3月)職業訓練支援事業の検証および継続。

- (3) 職業訓練支援事業のチームリーダーと派遣団員の選考を継続的に行う。
 (4) 地区大会のブースに国際奉仕委員会のもと、VTTも協力して職業訓練支援事業の経過等を展示する。

地区国際奉仕委員会



委員長
松原重俊
 (砂川RC)

1. 活動方針

第2510地区各クラブの皆様へ、地区国際奉仕委員会の活動を理解していただき、地区国際奉仕事業へ参加していただけるようにサポートする。また、国際奉仕事業の実施には、地区ロータリー財団、VTT委員会等と連携をとる。

2. 活動計画

(1) 国際奉仕事業の実施

各クラブに、支援国の実情に応じたモデルプランを提供し、事業への参加協力をお願いする。

また、国際奉仕活動の実施には、各クラブからの支援を中心に地区ロータリー財団や他委員会の協力を得て、事業をスムーズに進める。

さらに、検証ツアーを実施し、事業の実施状況を確認するとともに相手RCとの友好をはかり、築いてきた絆をさらに強いものにする。

(2) 国際奉仕活動の啓蒙

卓話、ロータリー雑誌、地区行事、ホームページ等で地区国際奉仕活動を紹介し、多くの会員に理解していただく。

(3) 「未来の夢計画」の中で

「未来の夢計画」の中で実施した事業を十分検証し、次年度へ向けてよりスムーズな事業ができるように研鑽を深める。

地区青少年奉仕委員会



委員長
出村知佳子
 (札幌北RC)

1. 活動方針

- ・「未来のロータリアンになっていく青少年」の育成に、各々のプログラムで積極的に取り組む。
- ・プログラムやプロジェクトを通して、「ロータリー」のメッセージを青少年に伝える。
- ・「青少年奉仕」に関するセミナーを開催し、各クラブと共通のテーマでこれについて共に考えていく。

2. 活動計画

・青少年奉仕部門の各委員会(青少年交換、インターアクト、ローターアクト、RYLA)と横の連携を取り、共通のテーマで活動を進めていくため、年に2回の合同委員会を開催する。

・社会奉仕、国際奉仕と協力をして、奉仕プロジェクトとして地区の支援プロジェクト等に参加をしていく。

・「青少年奉仕」合同委員会を開催し、各クラブの活動をサポートする。

地区インターアクト委員会



委員長
山口史朗
 (札幌東RC)

1. 活動方針

未来を担い、無限の可能性を秘めた青少年に対して、ロータリーは何が出来るのか。何をすべきなのか。ロータリーの果たすべき役割と可能性を考えた時、青少年奉仕は重要なプログラムであり、その認識をロータリアンが共有化していくことが大切なスタートだと考えます。

ロータリークラブが、インターアクトクラブの設立を提唱し、指導やサポートを提供して、交流を深め育成していく。そして、自立したインターアクトの活動が、ロータリーにプラスの効用をもたらし、ロータリーの未来に繋がる。ウィンウィンの関係構築を進めながら、インターアクトに対する理解と協力の拡大を推進しながら、一層の活性化を目指したい。青少年交換・ローターアクト・RYLAの各委員会との連携強化に努めたい。

2. 活動計画

- (1) 年次大会の開催 (2016年6月下旬予定 ホスト 札幌東ロータリークラブ 北海高等学校)
- (2) 研修旅行の実施 (2015年8月6日～9日予定 3泊4日 台湾)
第3490地区の青少年との交流、ボランティア活動を通じて、国際交流と体験学習を経験する。歴史と文化を学び、友情と奉仕の心を深めることを目的とする。
- (3) 地区大会参加の奨励 (特に並行プログラム) とブースの出展。
- (4) 年間4回の地区委員会の開催。
- (5) 各インターアクトクラブ間の情報交換と交流の推進。
- (6) 全国インターアクト研究会・全国地区委員長会議出席。
- (7) インターアクト卒業後のロータリーアクトクラブ入会推奨。
- (8) インターアクターとロータリアンの相互例会訪問の推奨。
- (9) 新規インターアクトクラブ設立支援。

地区ロータリーアクト委員会



委員長
石山 嘉治
(森RC)

1. 活動方針

- (1) 地区委員会とロータリーアクト地区役員間の緊密な連携を図り活発な委員会運営に努める。
- (2) ロータリーアクト・プログラムの管理及びサポートに努める。
- (3) ロータリーアクト卒業生をロータリアン候補者としてロータリークラブへの紹介に努める。
- (4) ロータリーアクト奉仕プロジェクトについて、ソーシャルメディアを活用し広報推進に努める。

2. 活動計画

- (1) ロータリーアクトクラブの連絡網を強化し、地区内ロータリーアクトクラブ、地区ロータリーアクト委員会の情報を共有し効果的な奉仕プロジェクトができるよう取り組む。
- (2) 地区インターアクト委員会と連携により、インターアクトクラブ卒業生のロータリーアクトクラブ入会勧誘に努める。
- (3) ロータリーアクトクラブ・提唱ロータリークラブ間の円滑な情報交換により相互の奉仕活動に参加、また共同の奉仕活動が実現できるような環境整備に努める。
- (4) ロータリーアクトクラブ卒業生が入会しやすい環境整備を実施しているロータリークラブの情報を地区内ロータリークラブに周知することに努める。
- (5) ロータリーアクトクラブ会員増強に向け活動内容を理解してもらう為、会報・ニュースレター等をガバナー、ガバナー補佐、地区内各ロータリークラブに配布する。
- (6) ロータリーアクトクラブ設立時の理念を再確認し、ロータリーアクターが地域指導者となれるよう目標達成のため必要な手段と技能習得のサポートに努める。

地区青少年交換委員会



委員長
出口 修
(札幌大通公園RC)

1. 活動方針

- ・受入学生の参加イベントを定期的 (月1回) に設けると共に、派遣候補生との交流の場を積極的に創り、受入学生の不安や悩みを委員会として認識し、その早期解消を図る。
- ・青少年交換の実施実績のないクラブを受入学生と共に訪問し、卓話を通じて青少年交換活動の理解促進を図る。

2. 活動計画

- ・派遣オリエンテーション実施 (年6回実施予定) 時に、交換学生交流会を同時開催する。
- ・派遣候補生への出発直前の英会話集中レッスンを実施する。
- ・秋季キャンプ (11月) と冬季キャンプ (3月) は例年通り実施する。
- ・第2500地区の協力を得ながら、7月上旬に道東キャンプ (約1週間) を実施する。

地区RYLA委員会



委員長
増山 柳
(江別西RC)

1. 活動方針

ライラRotary Youth Leadership Awards (ロータリー青少年指導者養成プログラム)の目的は、年齢14～30歳の青少年を対象にスキルと人格を養いながら、奉仕、高い道徳的基準、平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供する事とされています。

RYLAセミナーの実施形式は様々ですが、標準的なものとしては2日～7日間のセミナーや指導者養成、キャンプなどによって行われています。

RYLAセミナー参加者は、インターアクト、ローターアクト、国際青少年交換のメンバーは勿論のこと、広く各団体・会社・学校又は個人からの推薦によって参加出来ることを理解してもらい、若者達がロータリーを通じて地域社会に貢献してゆける人材を育ててゆきたい。

2. 活動計画

- (1) 復興支援奉仕活動(キッズキャンプ)などへRYLArianへ参加を呼びかけ、ロータリーの奉仕活動への興味関心を持たせる。
- (2) ローターアクト、インターアクト、青少年交換委員会との情報を密にし、RYLAセミナーのプログラム内容の充実を含め、参加者の拡大を図っていきたい。
- (3) 地区のRYLA委員会として月1回の会合をもって、RYLAセミナー開催の意義を共有すると共に地区内クラブへの情報提供を行う。
- (4) 2年間のRYLAセミナー経験者であるRYLArianがリーダーシップを発揮できる場を多く作っていく。

地区ロータリー財団委員会



委員長
遠藤 秀雄
(登別RC・PG)

1. 活動方針

ロータリー財団管理委員長はレイ・クリンギンスミス氏
管理委員会の2015年7月から3年間で取り組む優先項目

- (1) 永久にポリオを撲滅する。
- (2) ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる。
- (3) 財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める。
- (4) ポリオプラスにおける成果と「世界でよいこと」をしてきた100年の歴史に特に注目し、財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める。

管理委員会の100周年目標

- (1) ロータリー財団に対する人びとの認識を高める。
- (2) ロータリー財団プログラムと関連する大きな達成を確認し、表彰する。
- (3) 2016年と2017年のRI国際大会、また、2016～17年度のゾーン、地区、多地区による全会合において祝賀を目的とした特別な催しを行う。
- (4) 2016～17年度は、年次基金、ポリオプラス基金、恒久基金、ロータリー平和センター大口寄付推進計画に対する寄付において過去最高額を達成する。

2. 活動計画

- (1) ロータリー財団管理委員会の優先項目や目標達成に協力する。特にポリオ撲滅に協力する。
- (2) 「毎年あなたも150ドルを」に協力しよう。
- (3) ロータリー平和センター・プログラムの推進に協力しよう。
- (4) ロータリーカードの入会に協力しよう。
- (5) ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めよう。

地区財団補助金委員会



委員長
齋藤康嗣
(札幌真駒内RC)

1. 活動方針

地区財団補助金を各クラブに支給する時期を新年度の8月中にする。

今年度は、地区補助金は440万円を予定しております。前年度と同等の予算は申請期間、地区での審査期間も短く、委員の負担もおおきいので、前年度に決めたルール、優先度を基本に活動をしていきます。

2. 活動計画

- (1) 2015年4月30日で2015-2016年度のクラブからの申請書を締切る。
- (2) 各クラブからの申請書をまとめ、審査資料を作成する。
- (3) 2015年5月初め～6月末 申請内容を委員会で審査する。
5月3回、6月3回内容を審査し、各クラブと話し合いをする。
- (4) 6月末に採用するプロジェクトを決定する。
- (5) 7月初めにロータリー財団に決定した金額を申請する。
- (6) 8月財団から入金された金額を、8月中に各クラブ指定の口座に支払う。
- (7) 各クラブから採用され実施したプロジェクトの報告を受ける。
- (8) 2015-2016年度採用されたプロジェクト状況を纏める。
- (9) 2016-2017年度の財団セミナーの資料を作成。
- (10) 2016-2017の地区財団補助金の申請、審査作業を行う。

優先度

- (1) 障害者支援
- (2) 児童養護施設支援
- (3) 人道事業 (国内、国外)
- (4) 奨学金 (他基金との重複は不可)
- (5) 環境保全事業
- (6) 海外 (国内) 文化事業
- (7) 新世代関連事業

条件

- ・各クラブの3年前の寄付金の1/4を基準
- ・最高額 30万円
- ・1クラブ1プロジェクト
- ・申請は2015年4月30日締切り
- ・申請時：申請書、指定口座、見積書

地区財団資金推進委員会



委員長
坂下賢二
(函館セントラルRC)

1. 活動方針

- (1) 財団の寄付の管理運営を図る。
- (2) 寄付金額に対する理解を図ると共に増進強化に努める。
- (3) クラブの寄付増進を図る。

2. 活動計画

- (1) 6ヵ月ごとの寄付額について把握する。
- (2) ポリオプラス寄付を推進する。
- (3) 財団ポイント利用を通して寄付推進を図る。
- (4) 大口寄付者、ポール・ハリス・ソサエティを推進する。
- (5) 1人150ドルの寄付を推進する。

地区奨学金委員会



委員長
齋藤博司
(千歳セントラルRC)

1. 活動方針

本年度の活動方針は、前年度同様に地区補助金を活用しての文化研修生(3ヶ月・6ヶ月)とグローバル補助金を使用しての1年度奨学生(大学院程度)の留学生を募集致します。出来るだけ当地区に留まり、帰国後は第2510地区財団学友委員会がサポートする財団学友会会員となり、当地区において、その国際感覚・知識およびボランティア精神をロータリアンのみならず、地域社会に大いに貢献することを期待しております。

当委員会は、こうした奨学生の選考と留学に出発するまでのサポートを行い、また留学地とのコミュニケーションをはかっております。各クラブからの積極的な奨学生の推薦を期待しております。

次に、財団奨学生制度について広く当地区内企業・教育機関などに啓蒙していただければと考えております。

2. 活動計画

- (1) 奨学金の種類と支給額及び奨学生の人数などの検討(第1回委員会)
- (2) 募集要項・ポスターなどの印刷およびそれらの送付作業(第2回委員会)
- (3) 募集開始(当地区ホームページ)・受付業務(委員長に集約)
- (4) 各クラブからの申請書類提出締め切りの確認。(2015年5月31日をもって締め切りとする)
- (5) 各クラブからの当委員会への提出書類の確認作業。
- (6) 当委員会での書類審査(第3回委員会)・面接選考(第4回委員会)の活動を実施している。その後、最終合否結果を本人と推薦クラブに通知する。奨学生候補者に対してオリエンテーション(委員会も同時に行う)を数回実施し、またその間に、相手国の受入れホストRCとの交渉も併せて行う。そして、文化研修生については、本年度中に派遣し、1年度奨学生に関しては大学院レベルの留学になるので、留学先大学の体制のことなどを考慮して次年度の派遣になると考えております。また、ロータリー財団の承認も必要となります。
次に、留学生の受入れRCの選考・交渉・調整などに学友会員のコネクションや助言が不可欠になります。従って、学友によるアドバイザーが組織的に必要であると考えます。この事から当委員会と財団学友委員会及び財団学友会は密接な関係でなければならない。
- (7) 財団学友会による帰国報告会への参加(第5回委員会)
- (8) 2014-15年度でのオリエンテーションは3回実施した。本年度も同様程度を実施したいと考えている。
- (9) 当地区での啓蒙活動として、種々の企業・組織などの人脈を通して出前説明会などを計画している。

地区財団学友委員会



委員長

前田 浩人
(苫小牧RC)

1. 活動方針

- (1) 財団学友会の活動に対する助言と支援。
- (2) 財団学友のロータリー活動への参加推進。
- (3) 財団学友に対するロータリアンの理解向上のための活動の推進。
- (4) 財団学友会活動の広報と日本学友会、米山学友会との交流の推進。
- (5) ロータリー奨学生の選考およびオリエンテーションへの協力、推進。
- (6) 青少年交換、ローターアクト、インターアクトのOBに関しても、学友として組織化を進める。

2. 活動計画

- (1) 学友会役員会との合同委員会の開催。
- (2) 奨学生帰国報告会と財団学友会総会の開催。
- (3) 財団学友による第2510地区クラブ例会での卓話の推進。
- (4) 地区大会における財団学友会によるブースの設置と出席への支援。
- (5) 財団学友会ニューズレター発行の支援。
- (6) 日本ロータリー学友会および米山学友会との交流の促進。
- (7) 財団学友のロータリークラブへの入会促進。
- (8) 国際親善に寄与する諸活動への支援。

地区ポリオプラス委員会



委員長

岡崎 芳明
(小樽南RC)

1. 活動方針

- ポリオプラスプログラムはロータリーが開始して30年目に入ります。ロータリーが世界の子供たちに対する貢献と未来に対する課題などの情報を発信し、ポリオ撲滅寄付の理解促進に努める。
- ポリオ撲滅に対してグループやクラブが地域社会等との連携や協力を図り、募金活動やイベント活動を積極的に起こす事を推奨しサポートしていく。
- ポリオ撲滅活動を通してロータリーの公共イメージの向上をはかる。

2. 活動計画

- (1) 会員一人30ドルのロータリー財団ポリオ撲滅寄付目標について、会員の理解と協力を促進すると共に、年間1500ドル以上の寄付によりクラブ表彰を受ける事を広報し、地区目標達成に努力する。

- (2) 世界のポリオ撲滅活動の近況情報をガバナー月信や地区ホームページに掲載し、理解を深めるよう努める。併せて奉仕活動の動画や静止画を募集する。
- (3) 地区大会にてポリオプラス委員会のブースを設置、ポリオ撲滅活動を更に推進していく。
- (4) 各クラブに対しポリオ募金活動を実施するに当たり、立案された活動計画をロータリークラブセントラルに入力頂き情報共有を図る。
- (5) ポリオ撲滅活動の広報や募金活動の為にポスターやノベルティグッズを必要に応じて提案・作成し地区内のクラブに提示しサポートする。
- (6) 使用金額の0.3%がポリオ寄付になるロータリーカードを会員に奨励していく。
- (7) 上記の活動をする為のポリオプラス委員会を定期的に開催する。

地区米山記念奨学委員会



委員長
渡 邊 葉 子
(札幌西北RC)

1. 活動方針

- (1) 米山記念奨学事業へのご理解・ご協力を推進する。
 - ・ 事業の目的の周知徹底
 - ・ 寄付目標：16,000円（普通寄付4,000円、個人寄付12,000円）この目標達成の為、会員のご協力を推進いたします。
- (2) 学友委員会との連携を強め、奨学生終了後消息不明とならない様に努める。

2. 活動計画

- (1) 年5回程度の委員会を開催致します。
- (2) 米山セミナーに於いて卓話依頼書を配布し、各クラブに卓話の機会をお作り頂きます。特に米山奨学生の受け入れを行った事のないクラブへ米山月間等に奨学生を派遣し、卓話を行います。
- (3) 奨学生・学友が、多くのロータリアンと交流の機会を持てるよう配慮致します。
- (4) ロータリーが目指す国際平和の為に活動一つである米山記念奨学事業に対する理解・ロータリーの奉仕活動に対する理解を奨学生の皆さんに理解を深めて頂くよう機会がある度にお話をする。

地区米山学友委員会



委員長
本 多 宏 行
(余市RC)

1. 活動方針

米山学友委員会は、米山学友会（北海道）の運営や事業のサポートする事を目的として発足しました。現在、米山学友会（北海道）の会員は、100名程度登録されておりますが、当地区内で活躍されている会員は50名に為らんとしている状況です。世代を越え、国境を越えた交流の場となっている学友会の更なる発展を目指し、米山学友会員と米山奨学生とロータリアンとの交流を深めるための活動を支援していきたいと考えています。学友会事業の活性化を促すよう努力してまいりますので、ご支援、ご協力をお願いします。

2. 活動計画

- (1) 米山奨学委員会主催の各種行事への参加
- (2) 米山学友会の名簿の更新
- (3) 米山学友会の行事（総会・家族懇親会）にロータリアンの参加を呼び掛ける。
- (4) 米山学友会と米山奨学生並びに財団学友会との交流促進。
- (5) 長沼国際交流フェスティバルの参加を支援する。
- (6) 地区大会に「米山学友会（北海道）」としての参加を支援する。
- (7) 機関誌「米山学友会（北海道）だより」の発行支援。

ななまるクラブ通信

このコーナーでは各グループ・クラブの皆様からの投稿を掲載させていただきます。

第12グループ

第12グループ ガバナー補佐 谷岡 裕 司

新年度の始まった7月1日に、第12グループの苫小牧地区3クラブで苫小牧市長岩倉博文氏のところに表敬訪問を致しました。訪問者は苫小牧RC青地会長・一瀬幹事、苫小牧北RC山本会長・友廣幹事、苫小牧東RC平田会長・佐藤幹事・佐藤会報雑誌広報委員長と私、谷岡の8名です。ここで各クラブの活動計画書を提出し市長と懇談を致しました。また、北海道新聞社、苫小牧民報社にもお伺いをし、本年度の活動計画をお話ししました。



ガバナー公式訪問報告

深川ロータリークラブ
妹背牛ロータリークラブ
7月7日(火)

7月7日(火) 嵯峨ガバナー、高田ガバナー補佐、齊藤・西方地区幹事、鈴木ガバナー補佐室長をお迎えし、本年度初めてのガバナー

公式訪問が深川で開催されました。先に深川RCから行われ、妹背牛RCは午前11時より会長・幹事懇談会を開き、会長から活動計画・クラブの現況等について報告し、少ない会員であるが、本年度のクラブテーマを「よろこび」とし、家庭・職場・地域によるよこびを感じ楽しくロータリー活動を実践して行きたいと説明しました。

引き続きクラブ協議会では、各委員長より事業計画及び活動方針について発表させていただき、嵯峨ガバナーからクラブの力量により活動し、小さなクラブでも特色を作ることが大切です。地域の要請を受け実施する「救急リレーバトン」の取組について激励のお言葉をいただきました。

合同例会では、ガバナーから開口一番高校野球北海道大会で、地元深川西高がガバナーの母校岩見沢東高を決勝戦で破り、全道大会に駒を進めた祝福があり、同校にご寄附をいただきました。会長・幹事懇談会、クラブ協議会にも触れ、クラブ活動展開に感想と激励の言葉があり、RI会長のテーマ・地区目標について詳しく説明をいただきました。

最後に五大奉仕にもう一つ家庭奉仕を加えていただき活動してほしい。地区はクラブの支援を一年間フォローして行きますと力強い言葉をいただきました。自分の足元を見つめクラブを楽しく有意義にすることが会員増強につながる。新会員の皆さんが楽しくロータリー活動を実践できるよう、地区大会並びに来年1月の合宿を実施します。きっと、一生の友情が生まれる出会いがあるはずと締めくくられました。小さなクラブですが、創設以来半世紀を迎えようとしています。地区目標に少しでも近づけるよう頑張っています。





地区大会

ホストクラブ / 岩見沢ロータリークラブ

国際ロータリー第2510地区
2015-2016年度

ふるさと百餅祭り (9月中旬開催)
ドゥッスンと豊作の響き…。見ごたえ満点! 息をのむ迫力!
五穀豊穡、商売繁盛、長寿、岩見沢市の繁栄を祈願し、世界一の大白(直径2.0メートル、重さ4トン)と杵(200キロ)で1俵(60キロ)の餅を百餅若衆が音頭に合わせてつきあげる、ダイナミックな祭りです。

第1日目 2015 10/3(土)

会場 北海道グリーンランド ホテル サンプラザ
岩見沢市4条東1丁目 TEL (0126) 23-7788
会場 岩見沢平安閣
岩見沢市5条東2丁目 TEL (0126) 23-4581

- 13:00 会長・幹事会 (岩見沢平安閣)
- 14:30 地区指導者育成セミナー (岩見沢平安閣)
- 18:00 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 (ホテルサンプラザ)

第2日目 2015 10/4(日)

会場 まなみーる「岩見沢市民会館」
岩見沢市9条西4丁目1番地1 TEL (0126) 22-4233
会場 イベントホール赤れんが
岩見沢市有明町南1番地14 TEL (0126) 22-5871

- 9:00 本会議 (まなみーる岩見沢市民会館)
- 11:30~13:00 並行プログラム 新会員セミナー
- 13:00 記念講演
- 14:30 表彰・記念品贈呈
- 17:00 懇親会 (イベントホール赤れんが)

2015 9/20(日)

記念囲碁大会

登録料
5,000円

会場 日本棋院北海道本部 囲碁会館
札幌市中央区北4条西6丁目 毎日札幌会館6F
TEL (011) 219-2340

2015 10/2(金)

記念ゴルフ大会

登録料
5,000円

会場 エムズゴルフクラブ
岩見沢市栗沢町加茂川1184
TEL (0126) 45-4747

登録料

- 会員……………15,000円
- ご家族……………10,000円
- 青少年……………5,000円
- RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会…12,000円

会場のご案内



2015-2016年度
国際ロータリー第2510地区

地区大会事務局

〒068-0004 岩見沢市4条東1丁目
北海道グリーンランド ホテルサンプラザ 4F
TEL (0126) 22-1777 FAX (0126) 24-0020

国際ロータリー 第2510地区 2015-2016年度 地区大会

世界へのプレゼントになろう

ご挨拶



ガバナー
嵯峨 義輝



地区大会実行委員長
大屋 均

出合いをSagaそう、美味しいをSagaそう プレゼントをSagaそう

世界一の大白を使用しているダイナミックな餅つき、約4,900品種8,600株のバラ・ハマナスが咲き誇るいわみざわバラ園、2009年度建築グッドデザイン賞に輝く岩見沢複合駅舎等々、小さなお宝がちりばめられたこの岩見沢に於いて、RI第2510地区大会を開催します。2015～16年度RIラビンドン会長の掲げるテーマ「世界へのプレゼントになろう」を目標に行動する真のロータリアンが一堂に会し、楽しく交歓し、学びあい、多くの参加会員皆様にとって感銘深い大会となり、友情と奉仕の心を育み、明日のロータリーの発展を拓く場になる事を願って、準備を進めております。

記念講演には、岩見沢出身の「国際ジャーナリスト手嶋龍一氏」をお迎えし、『自立する北海道—自己決定権の時代—』と題して講演をいただくと共に、新たな試みとして、東大寺長老 北河原公敬氏を特別講師にお迎えして、新会員セミナーを開催致します。

我クラブにとって30年ぶりにホストする地区大会であります。栗沢RC・岩見沢東RCのお力添えを頂きながら、多くの参加ロータリアンへ、岩見沢発の「良かった! 美味しかった! 楽しかった!」をプレゼントしたく、努力を重ねております。

沢山のロータリアンとご家族のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

並行プログラム



2015 10/4日 11:30～13:00
新会員セミナー

特別講師
北河原 公敬
(きたがわらきみひろ)
1943年(昭和18年)生まれ
龍谷大学 大学院卒
東大寺長老・東大寺総合
文化センター総長

ロータリー歴
1988年 奈良大宮RC入会
2003～04年度 クラブ会長
2014～15年度 RI第2650地区
ガバナー

2015 10/4日 13:00～14:30

記念講演 テーマ
「自立する北海道」～自己決定権の時代



外交ジャーナリスト・作家
手嶋 龍一
(てしま りゅういち)

プロフィール

1949年北海道生まれ。岩見沢東高等学校、慶應義塾大学経済学部卒業後、NHKの政治部記者として首相官邸、外務省、自民党を担当。ワシントン特派員としてアメリカに赴任し、冷戦の終焉に立ち会う。湾岸戦争では最前線へ。その後、ハーバード大学CFIA・国際問題研究所に招聘される。その後、ボン支局長としてドイツに赴任し、続いてワシントン支局長を8年間にわたって務める。この間、ブッシュ大統領をはじめ、重要閣僚の単独インタビューを数多くこなした。2001年9.11の同時多発テロ事件に際しては、11日間の昼夜連続の中継放送を担い、冷静で的確な報告で視聴者の圧倒的な支持を得た。2005年NHKから独立し、日本で初めてのインテリジェンス小説『ウルトラ・ダラー』を発表。姉妹篇『スギハラ・ダラー』とあわせて50万部の大ヒットに。2001年の同時多発テロから2011年の福島原発事故までの十年間を検証し、日米両国の指導者の有りようを描いた『ブラックスワン降臨』(後に新潮文庫として『宰相のインテリジェンス』)を発表。また佐藤優氏とのインテリジェンス対論の三部作『動乱のインテリジェンス』『知の武装～救国のインテリジェンス～』『賢者の戦略 生き残るためのインテリジェンス』(新潮新書)はベストセラーに。

敷地面積4万㎡、道内最大規模
いわみざわ公園バラ園



2009年グッドデザイン大賞受賞
岩見沢複合駅舎



明治32年建設、今も鉄道レールが作られている
岩見沢レールセンター



大観覧車は高さ85mで道内最大
北海道グリーンランド



道内有数の稲作地域



映画「ぶどうのなみだ」ロケ地
宝水ワイナリー

ロータリー、 来し方行く末

連載 第2回

ポール・ハリスは 寂しかった

国際ロータリー第2510地区

 パストガバナー 塚原 房樹
 (札幌東RC)


ハリスの「寂しかったから」という言葉をご存知でしょう。1935年、初めて来日したポール・ハリスが「なぜロータリーを創ったのですか」と尋ねられたときの答えです。その頃のシカゴは、交通の要衝として急速に発展し、倫理観の欠如、無秩序な競争、ライバル意識、孤独感、疎外感、過酷な自由競争に敗北するかも知れないという恐怖感が溢れていました。

《孤独地獄》というものがあるそうです。人間にとって一人で置いておかれることは一種の地獄なのです。もし孤独が地獄であるとするならば、二人でいるということはもうすでに極楽への入り口でありましょう。これが古来変わらぬ人情であり、その人情の上に立って、その心をますますのぼしていこう、深めていこう、そして世界的に広めていこうというのがロータリー運動なのです。

ハリスは孤独な職業人と職業人との間に友情の架け橋をかけました。従って、ロータリーの目的は、すべての人たちと友情溢れた関係を作ることなのです。

1927年、ベルギーのオステンドで開かれた国際大会で、奉仕部門を四大奉仕、すなわち、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に分けることが決定され、以来ロータリーの奉仕活動は、これらの四大奉仕部門を中心に行なわれることとなりました。皆さんの中には、四つの奉仕部門はそれぞれ別のものと考えている方もいらっしゃるでしょう。実は四つの奉仕部門は、みな同じでその心は一つなのです。

「我々はどのクラブもどのクラブも皆友情溢れたクラブにすべきである。ビジターとしてクラブを訪れた人たちが、当時のスピーカーの話や当時の弁当のことなど忘れてしまった後までも、当日差し伸べられた歓迎の暖かさ、会員の友情の暖かさを忘れることが出来ない…そのようなクラブ。あなたのクラブを友情溢れたクラブにするために自分の任務を果たすこと…これがクラブ奉仕なのだ」「あなたの企業に関係するすべての人々と友情溢れるような関係を築くこと…これが職業奉仕なのだ」「会員の一人ひとりが、各々その地域社会における自分の責任を自覚して、良き隣人であり良き市民である…ということを自覚する。あなたの地域を友情溢れた社会にするために自分の任務を果たすこと…これが社会奉仕なのだ」「会員の一人ひとりが、ロータリーは国際ロータリーなのだということを自覚するクラブ。ロータリアンは、より広い人類同胞の一員であることを認識しなければならない。この世界を友情溢れた世界にするために尽くすこと。これが国際奉仕なのだ」

ロータリー運動は、ロータリークラブで結ばれた友情がすべての活動の基礎となります。もっと友情溢れる、もっと親しみやすいクラブにするために親睦“Fellowship”を大事にしてください。

新 会 員 の ご 紹 介



苫小牧東RC
西條 利江
7月1日入会
飲食業



当別RC
大澤 俊信
7月1日入会
アパレル業



滝川RC
和泉 豊樹
7月2日入会
人材育成



滝川RC
熊谷美由紀
7月2日入会
飲食業



滝川RC
千田 史朗
7月2日入会
行政代行



千歳RC
伊藤 正樹
7月2日入会
ハンドリング、
旅客サービス



千歳RC
根橋 聖治
7月2日入会
自動車部品製造



千歳RC
村松 繁克
7月2日入会
社会保険労務士



千歳RC
荒 洋一
7月9日入会
福祉サービス業



苫小牧RC
今出 清陽
7月3日入会
生命保険

～米山奨学生のご紹介～

有難いロータリー

呂 振

中国の山東省から来ました北海道大学大学院水産科学院の留学生呂振と申します。私は内陸部で生まれ育ったため、幼少期に海を見たことがありませんでした。テレビで初めて海を見たとき、とても興味が湧いたのを覚えています。

私は渤海と黄海の境界線の近くにある大連海洋大学で海洋技術を専攻していました。講義などを通じて日本が海洋観測分野で先進的、主導的立場にあることを知りました。わが国の発展に伴い、海洋資源管理の混乱と乱獲問題が日増しに深刻になっています。そこで、私は実際に日本に行き、自分の視野を広げたいと考えました。大学院の研究を通して、海洋科学の発展に貢献するために、自分の専門知識を更に深め、将来研究者として生きていく力を養いたいと考えています。

今年度のロータリー米山奨学生になって、本当に有難いと思います。世話クラブは北斗ロータリークラブです。色々な行事に参加して、ロータリー精神を学び国際理解を深めながら、日中両国の友好関係のために努力していきたいと考えています。



2018-2019年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 嵯峨義輝
地区ガバナー指名委員長 細川好弘

2018-2019年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)



国際ロータリー第2510地区青少年交換委員会

2016-17年度青少年交換派遣学生募集要項



2016-17年度の派遣学生を下記の要領に基づいて募集いたします。ロータリーの親善大使としてふさわしい学生をご推薦いただきますようお願いいたします。1クラブ2名まで推薦いただくことができますが、原則として受入時期の異なるオーストラリア1名とそれ以外の交換国1名の計2名となります。

- 派遣期間** 2016年夏からの1年間(11か月以上1年未満)
※短期交換(夏休み等を利用した1か月の交換)も合わせて募集します。
- 派遣予定国** 米国、カナダ、オーストラリア、フィンランド、台湾
- 募集人員** 5～6名
- 応募資格** 2016年1月現在15歳以上19歳未満で、中程度以上の学業成績があり、ロータリーの親善大使として積極的な態度をもつ男女。ロータリー会員の子女であると否とは問いませんが保護者と在籍学校および推薦ロータリークラブの全面支援を必要とします。
- 自己負担費用** 往復の旅費、保険等
- 応募方法** 推薦ロータリークラブを通じてエントリー用紙を委員会宛にお送りください。
- 第1次締め切り** 2015年9月末日
- 選考会** 2015年10月に開催します。 ※開催場所未定
- 選考方法** 選考方法：英語リスニングテスト、面接

問い合わせ先

国際ロータリー第2510地区青少年交換委員会事務局

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F ガバナー事務所内
TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail: yec-rid2510@spa.nifty.com
青少年交換委員長 出口 修 (携帯：070-5288-1128)

ポリオプラス 委員会より

野生型ポリオは昨年より確実に減ってきています。しかし今撲滅の手を休めると又増えてくる事になります。今期の募金目標額は会員1人30ドルとなっておりますが、金額は基よりお願いしたい事は地域の皆様へポリオ撲滅の意義と募金を行うキャンペーン活動です。是非昨年同様各クラブの皆様には地域に対するポリオ撲滅のキャンペーンを計画をお願い申し上げます。

END
POLIO
NOW

野生型ポリオ症例数

2015年7月20日現在

ポリオ	国	2015年7月更新時	2014年同時期	2014年度合計	麻痺が発生した最後の年月日
常在国	パキスタン	28	94	306	2015年6月30日
	アフガニスタン	5	8	28	2015年6月7日
	ナイジェリア	0	5	6	2014年7月24日
常在国 以外	ソマリア	0	4	5	2014年8月11日
	赤道ギニア	0	4	5	2014年5月3日
	イラク	0	2	2	2014年4月7日
	カメルーン	0	3	5	2014年7月9日
	シリア・アラブ共和国	0	1	1	2014年1月21日
	エチオピア	0	1	1	2014年1月5日
	世界合計		33	122	359

【ポリオ撲滅に大きな進展】

パキスタンの最新の症例は連邦政府管理部族地区で発生しています。同地区は、反政府組織やポリオ不信者が多く、ワクチン投与が進まなかった地区ですが、ワクチン投与がこれまでになく進み症例数は昨年度と比較し激減しています。このような大きな進展は、会員の方の多大なる支援と命と隣合わせの最前線で活動しているポリオワーカーの献身的な活動によります。

今年2月には4人のポリオワーカーが殺害され、過去4年で70人が命を落としています。

【私たち会員が寄付した資金はこの様に使われています】

ポリオ撲滅活動の4つの柱、1.定期的な予防摂取 2.予防接種補助 3.監視 4.ターゲットを絞った「掃討」キャンペーンです。この柱をロータリー財団を含め世界保健機構(WHO)、米国疾病管理・予防センター、ユニセフの主要パートナーとパートナーシップが、包括的、長期的な戦略を立て政府機関等と広範な活動をしています。ロータリーの国際ポリオ・プラス委員会はポリオ・プラスの進捗状況をレビューし、資金はWHOとユニセフへ定期的な予防接種や全国予防接種日、又は補足の予防接種活動などの補助金として提供しています。今回は戦略について説明します。

文庫通信



(334号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献(2)

【下記申込先：ロータリー文庫】

「私のロータリー」 森 三郎 1992 198p
「日常語で、ロータリー」 森 三郎 1995 20p
「『今 ロータリーが忘れていた事』関西ロータリー研究会第55回例会記録」 森 三郎：講師 1999 112p
「アイエオ!! - ロータリーの心と人生のイロハ -」 小林 博 2002 4p
「ロータリーとは何か(ロータリー入門)」 松崎勝一 2005 11p
「ロータリーの歴史<75年の歩みを振り返る>」 梶原景親 福岡西R.C. 1980 53p
「ロータリーの奉仕哲学」 梶原景親 福岡西R.C. 1983 40p
「ロータリー讀本」 梶原景親 福岡西R.C. 1984 143p
「ロータリアンの特典と義務について 改訂版」 麻植 晃 徳島南R.C. 1998 18p
「会員増強について考える」 鳴海淳郎 2000 8p

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

地区カレンダー（8月・9月）

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間	
1 (土)	～2(日) ローターアクト地区交流キャンプ(小樽)
2 (日)	
3 (月)	
4 (火)	公式訪問(当別RC)
5 (水)	公式訪問(留萌RC)
6 (木)	～9(日) インターアクト海外研修旅行(台湾) 公式訪問(羽幌RC)
7 (金)	
8 (土)	
9 (日)	
10(月)	～12(水) 福島キッズキャンプ(岩見沢)
11(火)	
12(水)	
13(木)	
14(金)	
15(土)	
16(日)	
17(月)	公式訪問(長万部RC、函館亀田RC)
18(火)	公式訪問(江差RC、七飯RC)
19(水)	
20(木)	公式訪問(岩内RC)
21(金)	
22(土)	
23(日)	
24(月)	
25(火)	公式訪問(室蘭北RC、伊達RC)
26(水)	公式訪問(室蘭東RC、登別RC)
27(木)	公式訪問(室蘭RC、洞爺湖RC)
28(金)	
29(土)	
30(日)	
31(月)	公式訪問(蘭越RC)

9月 基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間	
1 (火)	～2(水) 第1回ガバナーエレクト研修セミナー(東京) 公式訪問(栗山RC)
2 (水)	公式訪問(余市RC)
3 (木)	2016-17地区研修リーダーセミナー(東京) 第13回日韓親善会議前夜祭(東京)
4 (金)	第13回日韓親善会議(東京) 地区親睦野球大会(小樽)
5 (土)	
6 (日)	米山奨学生研修旅行予定
7 (月)	
8 (火)	公式訪問(小樽RC)
9 (水)	公式訪問(倶知安RC)
10(木)	公式訪問(小樽銭函RC)
11(金)	
12(土)	公式訪問(札幌手稲RC)
13(日)	
14(月)	公式訪問(札幌南RC)
15(火)	公式訪問(札幌清田RC)
16(水)	公式訪問(札幌モーニングRC、札幌真駒内RC)
17(木)	公式訪問(札幌東RC)
18(金)	公式訪問(札幌幌南RC)
19(土)	小樽銭函RC創立40周年記念式典(小樽)
20(日)	地区大会記念囲碁大会(札幌)
21(月)	敬老の日
22(火)	国民の休日
23(水)	秋分の日
24(木)	公式訪問(千歳RC)
25(金)	～26(土) 全国インターアクト研究会・ 全国委員長会議(京都) 公式訪問(小樽南RC)
26(土)	
27(日)	
28(月)	
29(火)	公式訪問(北広島RC)
30(水)	

2015年8月のロータリーレート 1ドル 124円

第7グループ各クラブ紹介

第7グループは2000—2001年度に第7分区から4クラブが分離して千歳、千歳セントラル、恵庭、北広島、長沼、由仁の6クラブでスタートしました。

- **千歳RC**は1968年に札幌RCをスポンサーに地区内32番目のクラブとして発足しました。1988年の千歳ローターアクトクラブを提唱しました。分収造林事業など息の長い事業展開をしています。(例会—木曜日)
- **恵庭RC**は1970年に札幌南RCのスポンサーで設立し1992年には恵庭ローターアクトクラブを提唱しましたがのちに人数不足から千歳と合併しました。青少年交換も盛んで40数名の派遣と受け入れを行っています。(例会—水曜日)
- **北広島RC**は1980年に札幌南RCをスポンサーに設立されました。交換留学も盛んに行い10数名の派遣と受け入れを行っています。(例会—火曜日)
- **千歳セントラルRC**は1990年に千歳RCのスポンサーで設立されました。2008年に千歳ローターアクトクラブの合同提唱(千歳、恵庭)クラブとなりました。創立以来米山梅吉記念館の訪問などを行っています。また近年は東日本大震災復興支援事業も継続しています。(例会—火曜日)
- **長沼RC**は1991年恵庭RCをスポンサーに設立されました。青少年交換が盛んで国際交流フェスティバルも24年目になりました。(例会—月曜日)
- **由仁RC**は1992年に恵庭RCをスポンサーに設立されました。少ない会員ですが5名の青少年交換留学の派遣と数名の受け入れを行っています。(例会—木曜日)6クラブともに楽しく活気ある活動を行っています。



表紙の解説

■ 新千歳空港の歴史

大正15年10月22日小樽新聞社の所有する「北海」一号機が千歳に飛来することを知った千歳の村民が飛行機を間近に見たいとの思いで着陸場が作られました。

着陸場を造る作業は2日間にわたりました。大人も子供も一丸となって村民総出で手に鋤や鍬を持ち、無償の汗を流して抜根と整地をしました。そして、長さ150間(約200m)、幅50間(約110m)、面積にして7,500坪の待望の着陸場を完成させました。それが新千歳空港の歴史の始まりです。

第二次世界大戦の敗戦にともない米軍に使用されていましたが、昭和26年に民間航空の運行が再開され「もく星号」が試験飛行で飛来しました。

昭和58年には千歳—羽田間の単一路線旅客数世界一にもなり自衛隊と共用されていた滑走路の移転が急がれるようになりました。

新千歳空港は昭和63年7月に現在の場所に民間航空専用滑走路が完成し、平成4年7月に現在の新ターミナルビルが供用開始され現在の空港の基礎となりました。

写真は航空自衛隊航空機と民間航空機の管制をする管制塔の見学をさせていただいた折に撮影しました。普段このような角度から空港を見る機会はないと思います。

この管制塔は高さが70メートルあり昭和63年6月に運用を開始した時は日本一の高さでしたが現在ではほかに高いものができ日本で4番目の高さになっています。